

科目名	学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位		
国語Ⅰ(古文):Japanese I	1MEC	1	50分×30回	履修	講義・通年	—		
教員名	三浦 美枝:MIURA Yoshie							
授業概要	日本の古典文学における様々なジャンルの作品を鑑賞します。毎時間古文の音読を行うことによって、まずは日本語の美しさを味わいましょう。それから作品を読みながら、基本的な古文常識や文法事項を学習します。その上で、作品の読解を通して、時代によって変わっていくもの(人々の生活・風習・ものの考え方など)と、現代の私達も共感できる、時代を経ても変わらない人間の情感とを読み味わっていきます。さあ、日本古典文学の世界を楽しみましょう。							
到達目標			評価方法					
(1)正しく音読ができるようにする。 (2)基礎的な古語・古典文法を理解し、現代語訳できるようにする。 (3)各作品の主題をとらえ、鑑賞する力を養う。			定期試験(中間・期末試験)80% 小テスト10% 提出物10% 国語Ⅰ(3単位)の最終評価は、国語Ⅰ(現代文・漢文)と国語Ⅰ(古文)を2:1として評価する。					
学習・教育目標		G①	JABEE基準1(1)		—			
授 業 計 画	回	項目	内 容		回	項目	内 容	
	第1	ガイダンス	授業の目的、内容などを説明する。		第16	徒然草	『徒然草』の文学的知識を深める。	
	第2	宇治拾遺物語	『宇治拾遺物語』の文学的知識を深める。また古文の仮名遣いや品詞について学習する。		第17	徒然草	「つれづれなるままに」を音読し、内容を読み取る。	
	第3	宇治拾遺物語	「児のそら寝」を読み、動詞の活用や係り結びの法則について学習する。		第18	徒然草	「ある人、弓射ることを習ふに」を音読し、助詞について学習する。	
	第4	宇治拾遺物語	「児のそら寝」を読解し、説話文学を読む面白さを味わう。		第19	徒然草	「ある人、弓射ることを習ふに」を古語・文法を学習しつつ読解し、主題をとらえる。	
	第5	竹取物語	『竹取物語』の文学的知識を深める。		第20	平家物語	『平家物語』の文学的知識を深める。	
	第6	竹取物語	「かくや姫の誕生」を読み、助動詞について学習する。		第21	平家物語	「祇園精舎」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第7	竹取物語	「かくや姫の誕生」を読み、古語・文法を学習しつつ読解する。		第22	平家物語	「祇園精舎」を読解し、そこに表された無常観について考える。	
	第8	中間のまとめ	前期の中間のまとめとして、試験を実施する。		第23	中間のまとめ	後期の中間のまとめとして試験を実施する。	
	第9	伊勢物語	『伊勢物語』の文学的知識を深める。		第24	平家物語	「先帝身投」を音読し、敬語法について学習する。	
	第10	伊勢物語	「芥川」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。		第25	平家物語	「先帝身投」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第11	伊勢物語	作中の和歌を鑑賞し、歌物語の作品の特徴をとらえる。		第26	平家物語	「先帝身投」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第12	土佐日記	『土佐日記』の文学的知識を深める。日本語の文字表記の歴史を学習し、この作品の文学的意義を理解する。		第27	奥の細道	『奥の細道』の文学的知識を深める。	
	第13	土佐日記	「門出」を音読し、古時刻・古方位の表し方、月の異名について学習する。		第28	奥の細道	「平泉」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第14	土佐日記	「門出」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。		第29	奥の細道	作中の俳諧を味わい、俳諧についての基礎知識を学習する。	
第15	土佐日記	「門出」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。		第30	1年間のまとめ	1年間の学習内容のまとめを行う。また授業評価のアンケートを実施する。		
自学自習の内容	次回学習する古典作品をノートに書写し、音読する。							
関連科目								
教科書	国語総合 改訂版 (筑摩書房)							
参考書	改訂 増補 カラー版 新国語便覧 (第一学習社)							
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。							
副担当教員	畑村 学							
備考								